

**平成30年度  
市民活動支援事業**

**成果報告書**

## はじめに

「霧島市市民活動支援事業」は、「共生・協働のまちづくり」の一環として、市民活動団体が行う公益的・公共的な活動に対して経費の一部を補助することにより、市民活動を促進するものであり、これまでに延べ122団体、そして、平成30年度は8団体がこの制度を活用し、様々な活動に取り組まれた。

この「平成30年度霧島市市民活動支援事業成果報告書」は、事業の活動内容や成果等を広く知っていただくとともに、今後の市民活動の参考としていただくことにより、「共生・協働によるまちづくり」が本市全体に更に広がることを期待して取りまとめたものである。

### 〈 参 考 〉 平成 30 年度 霧島市市民活動支援事業応募・採択内訳

#### 【選考審査の結果】

区 分	応 募	採 択
団 体 数	11 団体	10 団体(8)
N P O 法 人	5 団体	5 団体(4)
その他の団体	6 団体	5 団体(4)
事 業 数	11 事業	10 事業(8)

※( )は平成30年度の事業実施団体数

#### 【分野別内訳】

分 野 別	応 募	採 択
保健・医療・福祉	2	2
まちづくり	2	2(1)
学術・文化・芸術・スポーツ	2	2
経済活動の活性化	1	0
環境保全	1	1
農山漁村振興	1	1
子どもの健全育成	2	2(1)
合 計	11	10(8)

※( )は平成30年度の事業実施団体数

# 目 次

(団 体 名)	(ページ)
1 特定非営利活動法人美しく豊かな錦江湾を守り育てる会	1～ 2
2 きりしま成年後見サポーターの会	3～ 4
3 特定非営利活動法人 ハッピーブリンデン	5～ 6
4 霧島市藝術文化フォーラム	7～ 8
5 NPO法人 Joy ステーション	9～10
6 史跡・文化財・景観モデルロード実行委員会	11～12
7 NPO法人金剛寺招魂社保存会	13～14
8 マタニティサポートカフェ鹿児島	15～16

## ＜ 参 考 ＞ 各団体の補助額等について

目次 番号	事業名	事業費	補助額
1	海のこと、山のこと体験事業	274,229 円	160,000 円
2	成年後見等の知識を持ち、地域の見守りの要となる 人材の養成事業	795,718 円	477,000 円
3	「歌のバリアフリーコンサート」	509,920 円	305,000 円
4	2018 霧島まちなか音楽バル	835,845 円	500,000 円
5	「こども食堂お助けマン隼人」運営事業	893,563 円	500,000 円
6	牧園に残る西南戦争堡塁跡調査・保存事業	289,955 円	172,000 円
7	竹灯籠祭り 2018' 史跡金剛寺／竹彩	962,123 円	450,000 円
8	霧島市での産前産後の過ごし方パーフェクトガイド事業	194,972 円	116,000 円
合 計		4,756,325 円	2,680,000 円

# 海のこと、山のこと体験事業

<特定非営利活動法人美しく豊かな錦江湾を守り育てる  
会> 事業費：274,229円 市補助金：160,000円

## 目 的 (背景・課題)

錦江湾は、黒潮の流入や水深があることから、多種多様な魚類などが多く棲息する豊かな海である。  
しかし、湾奥においては、生活排水等による汚染や溶存酸素の減少等により魚影が少なくなっている。  
一方、この錦江湾内、及び錦江湾洋上からの景観は、世界に誇れるものである。  
この景観観察を実際に体験してもらうことにより、この美しい錦江湾を次世代へつなげる郷土の宝物としてもっともっと守り育てていかなければならないという機運を醸成していく。  
また、山や森が錦江湾を育てているということを理解してもらうとともに、山の恵みの一部にふれることで山への愛着を深めてもらう。

## 事 業 内 容

- ・海から山を見てみよう事業
- ・山の恵みを知ろう事業

## 事 業 の 成 果

海と山という全く異なったフィールドで、2週間という期間の体験だったが、全員がどちらも参加してくれた。  
また、天候にも恵まれた事業になった。  
まず、海の体験では、新島渡島を追加したが、そのことで、中ノ島(通称軍艦島)の異形を間近で見ることができた。また、透明度の実測した結果、霧島側より桜島側が澄んでいることがわかった。  
山の体験では、窯出しと椎茸の駒打ち体験を実施した。

このような体験活動をしたことで、児童たちが感じたことを、他の児童や家族に話すことによって、錦江湾奥、そしてその水の源になっている山への関心が広まっていくのではないかと期待している。

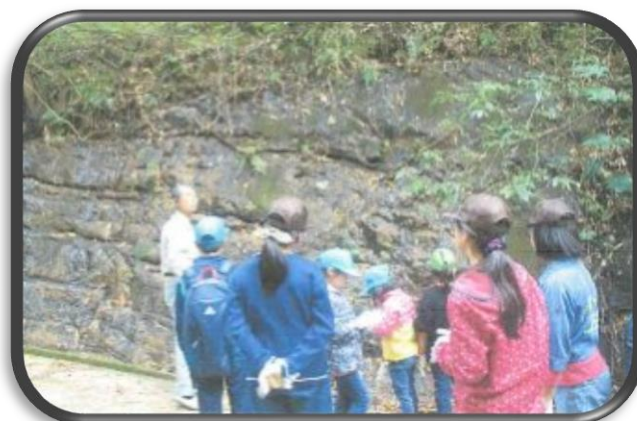
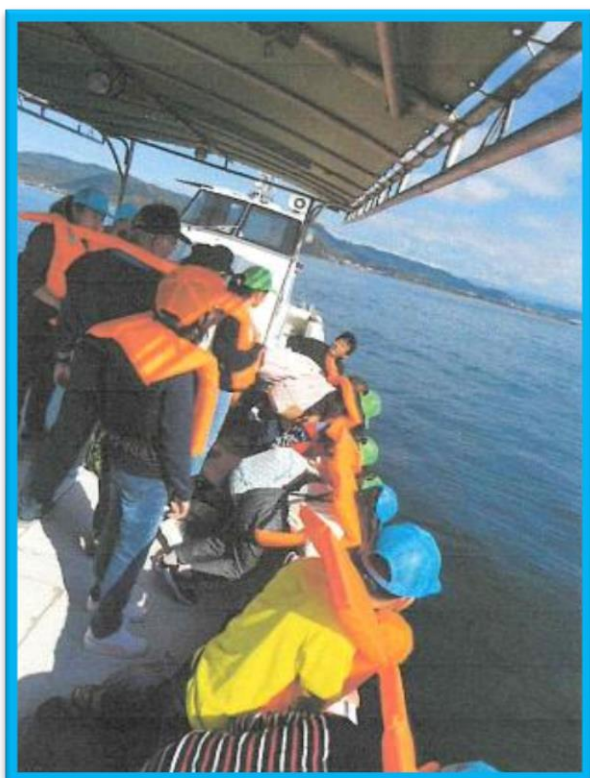
## 自 己 評 価

- 1 事業効果  
期待した効果が上がった。
- 2 改善すべき課題  
なかった。
- 3 予算執行  
多少の変更があった。  
執行の段階において、バス会社との契約や物品の購入等、できるだけ支出額を少なくするよう努めたため。
- 4 今後の展望  
新島での無人島体験は、錦江湾奥の活性化のためにとても効果的である。  
今後も錦江湾奥と新島を一体とした活用が進むようにしたい。  
また、美しく豊かな錦江湾の保全と活性化を行政や他団体へも呼びかけていきたい。
- 5 その他  
錦江湾奥には、ビューポイント、体験ポイントともに、世界的なものから県内外に誇れるもの、地元の人にも知ってほしいものなど、様々なポイントがある。  
今後、これらをどのように発信するか、そして多くの人に来てもらい、錦江湾奥の魅力に触れてもらえるか、今後も努力していきたい。





軍艦島沖の透明度は 13m と霧島市沿岸より遥かに高かった。



### 団体情報

<団体名> 特定非営利活動法人美しく豊かな錦江湾を守り育てる会

<代表者> 鶴丸 明人

<設立日> 平成23年10月19日

<会員数> 25人

<主な活動>

錦江湾を守り育てるための普及啓発活動、シンポジウム開催、  
海岸清掃活動(小島)、隼人浜下りの協賛、環境保全農業推進

<連絡先>

所在地 〒899-4304 霧島市国分清水3-14-55

TEL 0995-46-3134

## 成年後見等の知識を持ち、地域の見守りの要となる人材の養成事業

<きりしま成年後見サポーターの会>

事業費：795,718円 市補助金：477,000円

### 目的（背景・課題）

今後ますます問題となってくるであろう高齢化社会を迎えるにあたり、地域の高齢者の見守りの要となる人材の育成を目的に、成年後見制度の普及啓発を図る。

### 事業内容

①「あなたとあなたの家族のための成年後見講座」の開催  
・市内6か所で開催(国分、隼人、霧島、溝辺、牧園、福山)

・公民館を会場にし、受講料を無料にするなど、誰でも参加しやすいようにした。  
参加人員延べ81名

・2回コースで、“成年後見”“認知症”“消費者被害対策”“実例を基に意見交換会”を実施。

②出前講座については、地域のひろば推進事業等に呼びかけたが、申込みがなかった。

### 事業の成果

①受講された方々には、成年後見制度を正しく理解していただき、高齢者が安心して暮らせる社会づくりに貢献できた。

②当会の会員も毎回受講して、受講者と一緒に自己研鑽に励んだため、地域の中での相談役として活動できる体制ができつつある。

③市が開設した成年後見センターの協力員として人材活用が可能となり、連携の道が開けた。

### 自己評価

#### 1 事業効果

期待した効果が上がった。

#### 2 改善すべき課題

参加者が昨年度と比較すると、倍以上に増えたが、まだ、市街地を離れると参加者が少ない。

高齢化が進む周辺部こそ、必要と思われるので、民生委員の方々の協力を得ながら、普及啓発に取り組みたい。

#### 3 予算執行

多少の変更があった。

出前講座の申込みがなかったため、賃金の支出が当初計画より、少なくなった。

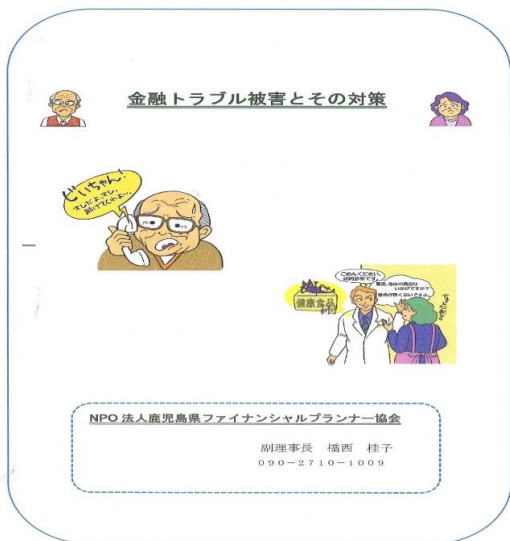
#### 4 今後の展望

市民後見人の育成指導は、急務の施策であると思われるが、民間の一団体では限界がある。行政と提携しながら事業を推進していきたい。

#### 5 その他

電話での相談が数件あったが、適切な回答ができ、相談者も満足して納得していただけたことは、研修会の賜物だと感じた。





### 団体情報

<団体名>きりしま成年後見サポーターの会

<代表者>黒木 順

<設立日>平成28年12月22日

<会員数>14人

<主な活動>

霧島市が実施した「市民後見人養成講座」を受講し、一般社団法人日本成年後見サポーター協会が実施した「成年後見サポーター認定試験」に合格した有志で、成年後見制度を広く霧島市に普及し、地域の見守りの要となるような人材を育成し、地域の高齢者を地域住民で支えあっていくことを目的に設立。

<連絡先>

所在地 〒899-4353 霧島市向花6-31-8

TEL 0995-45-2087

# 「歌のバリアフリーコンサート」

<特定非営利活動法人 ハッピーブリンデン>

事業費：509,920円 市補助金：305,000円

## 目 的（背景・課題）

すべての人々が、障がいのある人とそのハンディキャップを認め、理解しあえる地域社会にはまだ至っていないのが現状ではないでしょうか。

このような現状を乗り越えて、障がいのある人もない人もお互いに思いやりを持って共生できる社会を目指すことは、地域社会の課題の一つであると考えます。

すべての子どもたちが同じ空間でコンサートを共に楽しむことにより、それぞれを認識して共生協働の社会の実現を目指します。

## 事業内容

「歌のバリアフリーコンサート」を霧島市内の小学校、保育園の計3ヶ所にて実施。

第1回 平成30年9月1日  
霧島市立重久保育園  
参加人数80人

第2回 平成30年11月15日  
霧島市立天降川小学校  
参加人数880人

第3回 平成30年12月8日  
霧島市立敷根保育園  
参加人数130人

## 事業の成果

子ども達も、皆一緒に声を掛け、ジェスチャーや手話を覚えてコンサートに参加することで音楽を楽しめたと思います。

手話に対する興味、障がいのある人への理解を進める効果もあったと考えます。

保育園や小学校それぞれに、年齢に関係なく、子ども達が見て、聞いて、色んなことを感じて、無意識のうちに障がいのある人もない人も同じなのだという感じてもらえたと考えます。

## 自己評価

### 1 事業効果

期待していた以上の効果が上がった。

### 2 改善すべき課題

コンサートのシナリオなど小学生の場合と用事の場合とで手直しをして対応をしているが、言葉づかい、動作などさらに年齢に合わせて分かりやすく研究、改善したい。

### 3 予算執行

多少の変更があった。

使用機材を変更するなどして当初の予定より委託費が増大した。また、消耗品も増額となったが賃金の現金支給を取りやめて調整をしたため、多少の変更になった。

### 4 今後の展望

活動の基本的な考え方に間違いなことを更に確信した。今後とも色々な場所で公演を行いたいと考える。

### 5 その他

これまで100か所以上の様々な場所で公演したが、失敗の公演は一度もないと自負している。

一見子ども用のコンサートのように、赤ちゃんから大人まで、障がいのある人もない人も、すべての人々に楽しんで、感動を伝えることができると思います。

### バリアフリーコンサート（8月7日） 霧島市

かたはです、バリアフリーコンサートに行ってきました。  
みんなが楽しそうに喜んでくれている姿を見て、とてもうれしくなりました。車いすの方も、  
物怖れなく楽しそうに飛び回っている様子を見てくれていました。  
今年も、心を開いてパァッと楽しむようにしたいと思います。  
一日一日を大切に  
感謝の気持ちを忘れずに、ハッピーになりましょう  
よしよしよしよしよしよしよし







天濠川小学校（11月15日）霧島市

1～3年生、4～6年生に分かれて2回公演を行いました。  
4～6年生の時、アンコールで子供達と一緒に舞台上がっていただき、人数が多くて6年生だけとなったのですが、ツボムが「4・5年生も負けるなー!!」と声をかけると、「オー!!!」と、拳を突き上げて答えてくれたのが印象的でした。まるでライブ会場のような熱気に包まれ、会場が一体となるのを感じました。 キジコ

毎回ツボムのコンサートを盛り上げる声かけにも大注目です!!!



敷根保育園（12月8日）霧島市

父兄の数が多くことにびっくりしましたが、父兄の皆様方のハリが良くコンサートの進行にもご協力くださいました。いっぱい笑って下さり、また悲しいシーンでは涙を流されるお母様もおられました。子供達とご家族の皆様と一緒にコンサートに参加していただき、良い思い出が出来ました♪ カエルマン



団 体 情 報

<団体名> 特定非営利活動法人 ハッピーブリンデン

<代表者> 畑 みどり

<設立日> 平成27年4月1日

<会員数> 180人

<主な活動>

AOB方式による「歌のバリアフリーコンサート」と、それに関連する事業を行い、耳の聞こえない人も聞こえる人も、すべての人が共生できる社会の実現に、音楽を通して寄与する活動を行っている。

<連絡先>

所在地 〒899-5112 霧島市隼人町松永1719

TEL 090-4475-6048

# 2018 霧島まちなか音楽バル

<霧島市芸術文化フォーラム>

事業費：835,845円 市補助金：500,000円

## 目的（背景・課題）

霧島市には音楽を愛し、様々なジャンルでヒビ鍛錬をしながら活動している多くのアーティストがいます。また国分市街地には音楽が楽しめる店舗も多数あり、まさに生活と音楽が親密な関係です。その素晴らしい音楽を街中で同時に聴き歩いたらどんなに楽しいか。ワクワクするようなイベントが出来ないか考えた結果、国分パークプラザ広場と近場の数店で食べ歩きのパル街ならぬ“聴き歩き”の『霧島まちなか音楽バル』を開催し、街の活性化に貢献する。

## 事業内容

一枚の回遊チケットで好きな音楽を聴き歩けるイベントを霧島のまちなかで開催！

主催：霧島市芸術文化フォーラム

チケット数：一般(1,500円)158枚、シルバー(1,000円)10枚＝計168枚

メイン会場：国分パークプラザイベント広場

ホール会場：コードトーン、フラミンゴハウス、カラオケONE、ジャンゴ、ファズロックカフェ、カフェ・ド・蔵、アヴァンティ、369(みろく)

## 事業の成果

質の良い様々なジャンルの音楽が街にあふれ、それを市民が回遊して聴きまわり街に活気が醸成された。

- ・市民に対して、音楽・文化・芸術の普及
- ・市内まちなかの経済活性化
- ・アーティストの支援育成

## 自己評価

### 1 事業効果

期待した効果が上がった。

### 2 改善すべき課題

今回初めて市民活動支援事業の補助を受けて実施したが、台風襲来で、子供達や遠方からの出演者の事を考慮していなかったため、次年度の対応をどうするのか計画していく。

### 3 予算執行

ほぼ予定どおり執行できた。

区分ごとの多少の上下はあったが、ほぼ予定どおりとなった。

### 4 今後の展望

市の活性化という面では、市街地の通り会などを巻き込んで実施する方向で考えていく。

### 5 その他

特になし。





平成30年度 霧島市市民活動支援事業

霧島まちなか音楽バル Vol.2

2018 Kirishima Downtown Music BAR

9.29(土)

【イベント開始入場無料】  
 ① 17時00分~開演  
 【ホール公演】観覧無料の観覧券です  
 ② 19時00分~終演  
 【ホール公演】観覧無料の観覧券です  
 ③ 19時00分~終演  
 【ホール公演】観覧無料の観覧券です

国分の色んなお店で色んな音楽が一枚のチケットで聴き回れる!

【出演】  
 ●まなまの音楽団  
 ●霧島市市民活動支援事業  
 ●霧島市市民活動支援事業  
 ●霧島市市民活動支援事業  
 ●霧島市市民活動支援事業  
 ●霧島市市民活動支援事業  
 ●霧島市市民活動支援事業  
 ●霧島市市民活動支援事業  
 ●霧島市市民活動支援事業  
 ●霧島市市民活動支援事業  
 ●霧島市市民活動支援事業

霧島市芸術文化フォーラム

### 団体情報

<団体名>霧島市芸術文化フォーラム

<代表者>日高 雄一

<設立日>平成26年4月16日

<会員数>41人

<主な活動>

各種芸術文化団体と連携して芸術文化を広く紹介して、霧島市民の文化度を高めるとともに文化・教育・経済面にも貢献していくものとする。又、各種ボランティア活動等へ積極的な支援・協力も行う。

<連絡先>

所在地 〒899-4341 霧島市国分野口東7-43

TEL 090-8585-8598

# 「こども食堂お助けマン隼人」運営事業

<NPO法人Joyステーション>

事業費：893,563円 市補助金：500,000円

## 目的（背景・課題）

メディアでは海外の発展途上国の子供の飢餓救済が放映されていますが、特に平成23年度に厚生労働省が発表した「7人に一人の子供がお腹がすいて寝れない」とのニュースは衝撃でした。

霧島市内では国分に「国分食堂ほのぼの」がありますが隼人にも必要との地域の要請を受けて始めました。

働く保護者を支援する意味でも継続して欲しいとの要請がありますので、今後も「こども食堂お助けマン」を継続するのが目的です。

子供は無料、その他の利用者には寸志をお願いしております。

## 事業内容

平成30年4月から翌年2月までの「こども食堂お助けマン隼人」は台風などの自然災害時と連休で利用者が少ない日を除いて41回開催され利用者が1,055名でした。2月2日は通算70回目を記念して南日本新聞に掲載されました。

また、宮内小学校の学童保育が満杯で困っているとの声を受け、4月から夏休み終了の8月末まで「放課後児童クラブお助けマン」を開催しました。

## 事業の成果

貧困家庭の子ども達への食事提供の目的での活動が全国的に展開されているが、内閣府は貧困に限定せず地域の子ども全員が参加出来る環境を勧めています。さらに、高齢者も含めて地域の「居場所づくり」として、子どもと高齢者の交流の場として推奨していることを受け「こども食堂お助けマン隼人」では地域の誰もが利用できるようにと考えています。

1年に数回、霧島市役所の福祉課と霧島市社会福祉協議会から貧困家庭の子ども達に食品提供が可能かとの問い合わせがあります。その時には「こども食堂お助けマン隼人」の利用を説明させていただき、家族でご利用していただきました。在庫がある時には、「フードバンクお助けマン霧島」の食材も提供しています。

## 自己評価

- 1 事業効果  
期待していた以上の効果が上がった。
- 2 改善すべき課題  
小学校のスケジュールや子ども達の参加の把握
- 3 予算執行  
多少の変更があった。  
新聞等での紹介により参加者は増えたが寄付金のお願いまでは出来ず、家賃支払いに苦労しています。
- 4 今後の展望  
今後も継続的に活動できるよう、「子どもは無料」を確保する為にも企業や個人に寄付の案内をして理解を求めたい。
- 5 その他  
・広報が出来ずに寄付金が集まらないで孫蔵の危機にある  
・鹿児島県内でも毎週実施しているのはお助けマン隼人だけである



住民ら食材持ち寄り ■ 国分中央高生手伝い

子ども食堂「お助けマン」  
 地域定着笑顔集い70回

霧島市の「隼人駅近く」の子ども食堂「お助けマン」の活動も食費お助けマン単人は2日、オープンから70回を迎えた。毎週土曜の昼、小学生らに無料で30〜40人分の定食を振る舞う。地域住民や高校生がボランティアで調理を支え、笑顔が集う場として定着している。

毎週土曜、隼人駅近く

根サライ、パンケーキなどが並び、子ども同士や家族連れ、高齢夫婦がにぎやかにテーブルを囲んだ。村上理事長は「毎週開催するのは、みんなが楽しんでやっているから。楽しさが伝わる場所として長く続けたい」と話した。(霧田朋美)



団体情報

<団体名> NPO法人Joyステーション

<代表者> 村上 光信

<設立日> 平成25年3月7日

<会員数> 13人

<主な活動>

少子高齢化に寄与することを目的に設立しました。

特に以下の事業に取り組んでいます。

- ・高齢者の生きがいづくりに関する事業
- ・生活困窮者自立支援法に基づく支援事業

<連絡先>

所在地 〒899-5106 霧島市隼人町内山田1-3-37

TEL0995-42-3212

# 牧園に残る西南戦争堡塁跡調査・保存事業

＜史跡・文化財・景観モデルロード実行委員会＞

事業費：289,955円 市補助金：172,000円

## 目的（背景・課題）

- ① 牧園に残る西南戦争時の堡塁の実態を調査して、地図に表示する。
- ② ①の地図及び牧園の人々と西南戦争との関わり等を記した冊子を作成し、市民の生涯教育や観光振興などに活用する。
- ③ 堡塁跡を広域文化遺産として後世に残すように広報活動する。

## 事業内容

- ① 堡塁跡の現地調査
- ② 冊子の作成  
「君は知っているかい？西南戦争の足跡を」
- ③ 堡塁跡の見学会(自主開催含めて3回実施)
- ④ 牧園地区の学校、観光協会等への冊子の贈呈
- ⑤ 堡塁及び堡塁周辺の樹木伐採整備

## 事業の成果

- ① 塩浸温泉龍馬記念館掲示板に常時掲載することにより、活動成果を広報することができた。
- ② 地道な活動が認められ、初めて牧園小学校の児童に説明会を開催し、社会教育の手助けをすることができた。
- ③ 共同作業をすることで会員の親睦が深まり、地域住民の新たな連帯意識を創造することができた。

## 自己評価

- 1 事業効果  
期待していた以上の効果が上がった。
- 2 改善すべき課題  
なかった。
- 3 予算執行  
ほぼ予定どおり執行できた。
- 4 今後の展望  
明治維新150年やNHK大河ドラマ「西郷どん」の放映による見学者の増加はなかったが、牧園小学校児童への説明会開催など地元での活動成果が上がりつつある。31年度は、夏季に県教育委員会の堡塁現地調査、牧園小学校教職員の説明会等が予定されていることから活動の発展が期待出来る。
- 5 その他  
特になし。



万膳入り口の薩軍堡塁

塩浸温泉龍馬記念館



招魂塚と従軍者碑の清掃



堡壘で模擬銃を持って当時を追体験する見学者

### 団体情報

<団体名> 史跡・文化財・景観モデルロード実行委員会

<代表者> 手嶋 正次

<設立日> 平成26年2月27日

<会員数> 16人

<主な活動>

史跡・文化財の見学会、景観モデルロード沿道や空き地の美化活動など

<連絡先>

所在地 〒899-6507 霧島市牧園町宿窪田642番地4

TEL 0995-45-0313

# 竹灯籠祭り 2018' 史跡金剛寺／竹彩

<NPO法人 金剛寺招魂社保存会>

事業費：962,123円 市補助金：450,000円

## 目的（背景・課題）

NPO金剛寺招魂社保存会は歴史をさかのぼると明治12年に西南戦争で若くして戦場の露と消えた139柱の御霊を慰めるため招魂社がおかれ、生還者や遺族により塚を建立し、永遠にお祀りするようになったが、年月の経過とともに遺族や地域の有志に見守りされてきました。

そして保存会も中間法人、一般社団法人、NPO法人と形を変え、金剛寺敷地内の戦争慰霊碑や文化財も含めて管理をしています。

しかし保存会も高齢化が進み若い世代の参加が必要であり、忘れられた史跡とならないように地域で見守りするためにも、参加型の情報発信の一つとして灯籠祭りを開催します。

## 事業内容

- 1 「竹灯籠祭り 2018' 史跡金剛寺/竹彩」の開催  
3,000本の竹灯籠 500個のペット灯籠 LED照明灯籠・つり灯籠など500個  
同時イベントの開催 竹灯籠の販売
- 2 「竹灯籠作り体験教室」の開催  
親子・一般を対象に竹灯籠作り、ペット灯籠作り  
作品は祭りに並べる
- 3 地域のイベントと共催……ふるさと祭り・その他

## 事業の成果

### ①まちづくりの推進

竹灯籠祭りは旧国分地域のお祭りとしてスタートして4回目を終えて、来場者が遠く市外・県外からも増えています。

### ②環境保全の活動

今年は台風の影響で立木が倒れ灯籠祭への影響もあったがスタッフの支援作業で復旧できた。今後も地域の連帯意識を盛り上げたい。

### ③観光の振興

今年度も城山公園管理事務所の事業と連携することで地域の繋がりや広報の手段としても効果をあげた。

### ④こどもの健全育成

小学生を対象に親子で作る竹細工・灯籠作り体験を開催し、喜ばれた。

## 自己評価

### 1 事業効果

期待していた以上の効果が上がった。

祭り当日は天候に恵まれ、約5,000個の灯籠が輝いた。来場者も1,500人にのぼり今後の開催にも期待がよせられた。

### 2 改善すべき課題

灯籠作成の人手が増えない状況で新たな企画も出来ないため、誰でも参加出来る祭りや地域のグループの作品設置などで規模拡大を検討したい。

### 3 予算執行

多少の変更があった。

天候を考慮し、電気照明やLEDライトを増やした。また舞台等作成費や灯籠設置台費の増加があった。

### 4 今後の展望

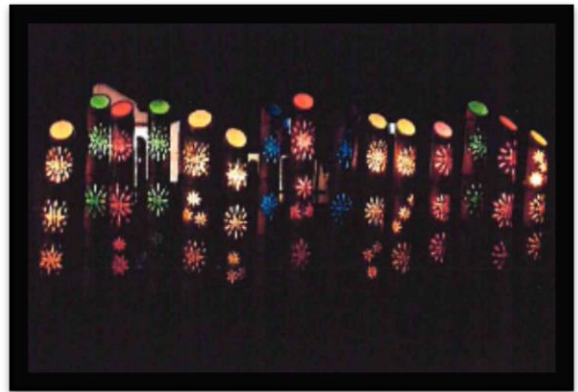
5年目開催については、検討中ではあるが、財源作りや組織作りを見直し結論を出したい。

### 5 その他

特になし。







● 主催 竹燈籠祭り実行委員会 このお祭りには地域の皆様のご協力が必要です。

主な団体 国分東・西自治公民館・国分地区連誼会・東中継年会・西上シニア会・  
NPO金剛寺招魂社保存会・地域女性支援グループ・ボランティア支援グループ

● 支援者 霧島市・霧島市教育委員会

● 問い合わせ先 NPO金剛寺招魂社保存会 連絡先 ☎ 090-4475-8583

※ 駐車場は無料があります。ご近所・グループ等様へお誘い合わせのうえ、案内スタッフの指示にご協力をお願いします。

※ 竹燈籠祭りは霧島市の市民活動支援事業の補助金を活用しました。 審査もご愛ください。

### 団体情報

<団体名> NPO法人 金剛寺招魂社保存会  
 <代表者> 肥後 敏男  
 <設立日> 平成24年12月28日  
 <会員数> 50人  
 <主な活動>  
 金剛寺招魂碑及び眞応上人廊の保全に関する事業  
 青少年健全育成に関する事業  
 六月灯等の祭典の開催  
 <連絡先>  
 所在地 〒899-4332 霧島市国分中央一丁目24-24  
 TEL 0995-45-8318

# 霧島市での産前産後の過ごし方パーフェクトガイド事業

＜マタニティサポートカフェ鹿児島＞

事業費：194,972円 市補助金：116,000円

## 目 的（背景・課題）

少子高齢化対策として「切れ目ない子育て支援」に向けての官民の取り組みは活発化していますが、産前産後は継続した関わりが希薄になりがちな機関で、アンケートでも「産前産後1か月が一番不安であった」という声が50%を超えています。

霧島市では特に転入世帯や転勤族世帯が多い地域背景もあり、出産・子育てに関する環境づくりに加えて、妊産婦への早めの働きかけや地域資源への結びつけが大変重要であると考えます。

## 事業内容

①霧島市の産前産後乗り越えガイド（チャート）の協賛募集・ガイドの配布

本事業の趣旨に賛同した3病院・2企業の協賛を得ることができ、日常生活や産前産後に関わる頼り先としてガイドに掲載しました。

ガイドは2月まで配布を行いました。設置場所は市内の公共施設や保健センター、支援センター、産婦人科、小児科、企業であり、里帰り妊婦への事業案内のために、県内産婦人科や鹿児島県助産師会にも送付し、周知と協力の依頼をしました。

②「実践！霧島市での産前産後乗り切り講座」の開始

6月から開始し、開催回数は2回コースを年間8回の計16回の予定でしたが流会があり12回の開催となりました。参加者は延べ27人でした。

## 事業の成果

産前産後乗り切り講座では妊婦参加者数が産後参加者数を上回りました。産婦人科の協力が得られてきたことや認知が広まったことが要因に挙げられると思います。ガイドチャートは書き込み式で、コミュニケーションツールとして家族での話し合いに活用しているとの声がありました。来年度はもっと票の活用を図れるように教室参加を勧め、2つの事業の連動を進めていきたいと思ひます。

## 自己評価

### 1 事業効果

期待した効果が上がった。

### 2 改善すべき課題

今回は参加者が前年度よりも少なく、告知の方法の見直しや配布場所での声掛けの必要性を感じた。働いている妊婦も多く、平日参加が出来ないとの声もあったため開催日時等も検討していく。

### 3 予算執行

多少の変更があった。  
講座の開催回数が予定より減ったため。

### 4 今後の展望

実際に同じ場に講師がいるからこそ体験出来る対話や実習を重視し、健康の管理や育児の際に実践できるように働きかけていく。

今後も孤独な子育てが減るよう仲間作りのための交流を図っていく。

知識に関しては情報過多の印象を受ける為、産後乗り切りコミュニケーションシートを活用して情報の整理を行っていく。

### 5 その他

参加者が産前に地域の開業助産師と顔合わせしていた為、産後申請時期に困ったときに支援に入ることができた。その後も継続的に関わられたことや産後が安心して迎えられるとの声も寄せられ、事業の目的は達成できたと考える。



## 霧島市で

# 産前産後ジョイント講座

退院後のくらしがまるわかり! ママたちの妊娠・出産への気がかりを解消!

2019年度霧島市市民活動助成事業「産前産後乗り切り講座」

**妊娠中の方 産後の方 2・3人目育児で心配な方**

**産前産後のサポートに興味のある方**

**check!!** .....

- 「入院中・産後」旦那さんとの家事分担のお話がまだ
- 疑問や不安をネットでつい調べてしまう
- 出産後のシュミレーションがしたい
- 何がどう大変になるか「分からない事」が分からない

▶▶▶ 1つでも当てはまる方、大歓迎!

助産師・保育士・栄養士などの専門家チームによる具体的なお話を、気軽に質問しながら聞けます。また、霧島市内の最新の子育て情報も…!

詳しくは裏面をご覧ください ▶▶▶

マタニティサポートカフェ鹿児島事務局  
〒899-8051 霧島市国分福島3-24-15  
TEL 090-9791-8051  
masc.kagoshima@gmail.com

## 産後乗り切り コミュニケーション シート

産後のママの  
ここからからは  
どう変わる? どんな手助けが  
必要なの?

産後を安心して乗り切るための  
コミュニケーションツールとして活用してください

きりしまでの子育てを応援します  
**マタニティサポートカフェ**

Facebook: <https://www.facebook.com/masc.kagoshima/>  
masc.kagoshima@gmail.com

産出産婦人科クリニック ☎ 0995-46-6800	産科産婦人科 ☎ 0995-45-0052	みづの産婦人科 ☎ 0995-44-9339
みづのHOUSE ☎ 0995-55-6782	霧島市医師会産科センター マタニティ外来 ☎ 0995-42-1171	霧島市助産院 ☎ 090-9791-8051
赤お菊産院 ☎ 090-6297-3281	助産院 at Kaya(アルカイ) ☎ 090-6612-4331	赤お菊と産科産婦人科の結婚カフェ 山下しず子 ☎ 080-5251-1975
ラダーションサロン しおり ☎ 090-8854-5005	catemomo ママーズホームヘルパー ☎ 0995-43-8126	hug@hug (はぐはぐ) ☎ 090-7473-8989
sanand Re:Pro ☎ 8995-45-6003	九州電力株式会社 霧島営業所 ☎ 0120-995-603	霧島市まごやが産科センター ☎ 0995-42-1178



### 団体情報

<団体名> マタニティサポートカフェ鹿児島  
 <代表者> 大村 祥恵  
 <設立日> 平成27年12月1日  
 <会員数> 5人  
 <主な活動>  
 2015年6月より、マタニティサポートカフェをスタート。妊産婦当事者・医療者・保育関係者などが同じテーマで勉強し、交流する企画を開催している。  
 全国で活躍する著名な講師陣にご協力いただきながら、回を重ねるごとに、草の根のネットワークづくりにつながっている。  
 <連絡先>  
 所在地 〒899-4322 霧島市国分福島3-24-15  
 TEL 090-9791-8051

平成 30 年度  
霧島市市民活動支援事業成果報告書

令和元年 11 月

〒899-4394 霧島市国分中央三丁目 45 番 1 号  
霧島市役所 市民環境部 市民活動推進課

T E L 0995-64-0988 (直通)

F A X 0995-46-0566

E-mail [simi-katudo@city-kirishima.jp](mailto:simi-katudo@city-kirishima.jp)